

## 第6回ポートランド調査イブニングサイトビジット「depave」

日時：平成25年8月22日（木）6:30pm～7:50pm

場所：オレゴン州ポートランド市 Fargo Gardens

### ●depave とは

depave は、人と野生生物が共存し、澄んだ空気ときれいな水、生い茂った森と地元農業が繁栄する生きやすい環境を思い描いている。そのため、都市部から unnecessary 舗装の除去、地域の緑化スペースの設置、そして雨水流水の減少を推進している。また、地域のパートナーシップとボランティアの協力を通して行動指向的な啓蒙イベント、コミュニティスチュワードシップ、そして人と自然がつながりを回復するため、関心を高めるために声をあげることによって、舗装がもたらす社会的、環境的影響を克服するよう努めている。Depave はポートランドを活動基盤にする NPO。



### ●建築家のジョシュさん

5年前から depave で活動している。建築家としてコンクリートやアスファルトの廃棄を見てきたが、環境問題に強く関心を持つようになった。当初環境問題を意識して活動を開始したが、次第にコミュニティを草の根で築くことに関心が高まった。住民を巻き込む活動をしている人の意味でジョシュさんを「コミュニティ・デザイナー」と呼んでもいいかと聞いたところ快諾を得た。



### ●コミュニティづくり



depave の活動のポイントは、①目に見える場所、②コミュニティがある、③半公共的な場所、④インパクトの大きさ（規模）、⑤貧困地区の改善などである。ソーシャルワークとして活動を展開していく役割を重視している。

●楽しく続ける

当初は環境問題を解決することを目的に活動していたが、農家と連携して貧困やマイノリティへの支援を行うなど、コミュニティと連携した活動に発展してきた。アスファルトをはがすことは楽しい！のはもちろん、コミュニティガーデンやお店を設置し、パーティをしたりして楽しみながら活動を続けている。

●訪問を終えて

日本においても既存の活動の目的を伸展することにより、新たな活動に発展することが期待できるのではないかと感じた。

